

水道施設再構築プラン

1. 水道施設再構築プランの基本的な考え方

新水道ビジョン計画期間内における水道施設の整備について、経年化に伴い、増大する維持管理経費の抑制、また計画期間の短縮を図るべく、合理化を推進する。

2. 水道施設再構築プランの具体的な方向性

(1) 配水ルートの再構築について

令和3年度の水利権更新に向けて実情に即した見直しを図る。(令和2年度～令和3年度)

⇒ 給水原価の抑制

(2) 基幹施設更新事業について

更新を予定する施設について、施設規模や利便性を追求することで水運用の効率化を目指し、総合的な視点からダウンサイジングや整理統合を積極的に行い、区域の再編等、適正化や合理化を図ることにより、将来の維持管理経費等の削減に努める。加えて、基幹施設、基幹管路そして設備等の更新計画について、複数の工事を一体化させ発注等の一本化を図ることで、さらなる工期の短縮、経費の削減を実施する。

●令和2年度～令和5年度

① けやき坂・清和台配水区域水道基幹施設再構築事業

ダウンサイジング及び整理統合(区域再編を含む)(配水池:4場8池→2場4池)

(ポンプ施設:4台→2台)

●令和5年度～令和12年度

② 萩原台配水区域水道基幹施設再構築事業

当該施設更新は、総合的な視点からダウンサイジングや整理統合、区域の再編等を検討し、施設の適正化及び合理化を図ることにより、将来の維持管理経費等の削減を目指すところである。

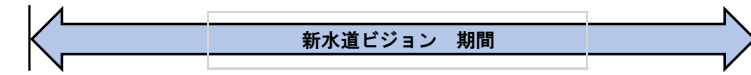
本再構築事業としては、ハブ機能を有する萩原台配水池を起点に再構築を計画するものとし、概要としては、萩原台2号配水池、多田院配水池、上大原配水池、坂の上配水池の4施設を廃止し、萩原台配水池の改造を行うものとする。

●令和6年度～令和12年度

③ 一庫配水区域水道基幹施設再構築事業

ダウンサイジングおよび整理統合(3場⇒2場:区域再編を含む)

※ ③の事業については、社会情勢などにより、変更となる場合があります。



	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
① けやき坂・清和台配水区域 水道基幹施設再構築事業													
② 萩原台配水区域 水道基幹施設再構築事業					工事着手 (R6)								
③ 一庫配水区域水道基幹施設再構築事業							工事着手 (R8)						

